

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

個人投資家様向け説明会

東証スタンダード 5018 (石油・石炭製品)

2024/2

01 会社紹介

02 成長戦略

03 サステナビリティ経営の推進

04 財務状況

05 株式関連

01 会社紹介

02 成長戦略

03 サステナビリティ経営の推進

04 財務状況

05 株式関連



地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

名称 株式会社MORESCO（英文名：MORESCO Corporation）

本社所在地 神戸市中央区港島南町5丁目5-3

事業内容 特殊潤滑油、合成潤滑油、素材、ホットメルト接着剤、
デバイス材料などの化学品の開発、製造、販売

設立 1958年(昭和33年)10月27日

資本金 2,118百万円

代表者 代表取締役社長 CEO 両角元寿

従業員数 [連結]784名 [単体]381名（2023年2月末日）

売上高 30,300百万円（2023年2月期：連結）

経常利益 1,046百万円（2023年2月期：連結）

01

私たちは、「ユーザーのための研究開発」をモットーに、境界領域におけるニーズに応えることによって、社会に貢献できる企業グループを目指します。

02

私たちは、境界領域のスペシャリストとして、新しい分野へも展開をはかり、新たな機能とサービスを提供します。

03

私たちは、人間性を尊重する職場づくりと、自由な発想によって、新しい価値を創造する企業グループを目指します

地球にやさしいオンリーワンを
世界に届けるMORESCOグループ

未来のために もっと化学 もっと輝く

MORESCOの関わる市場

過酷な環境、特殊な環境で使われる
特殊潤滑油



精密機器や過酷な環境で使われる
合成潤滑油



紙おむつや粘着ラベルなどに使われる
ホットメルト接着剤



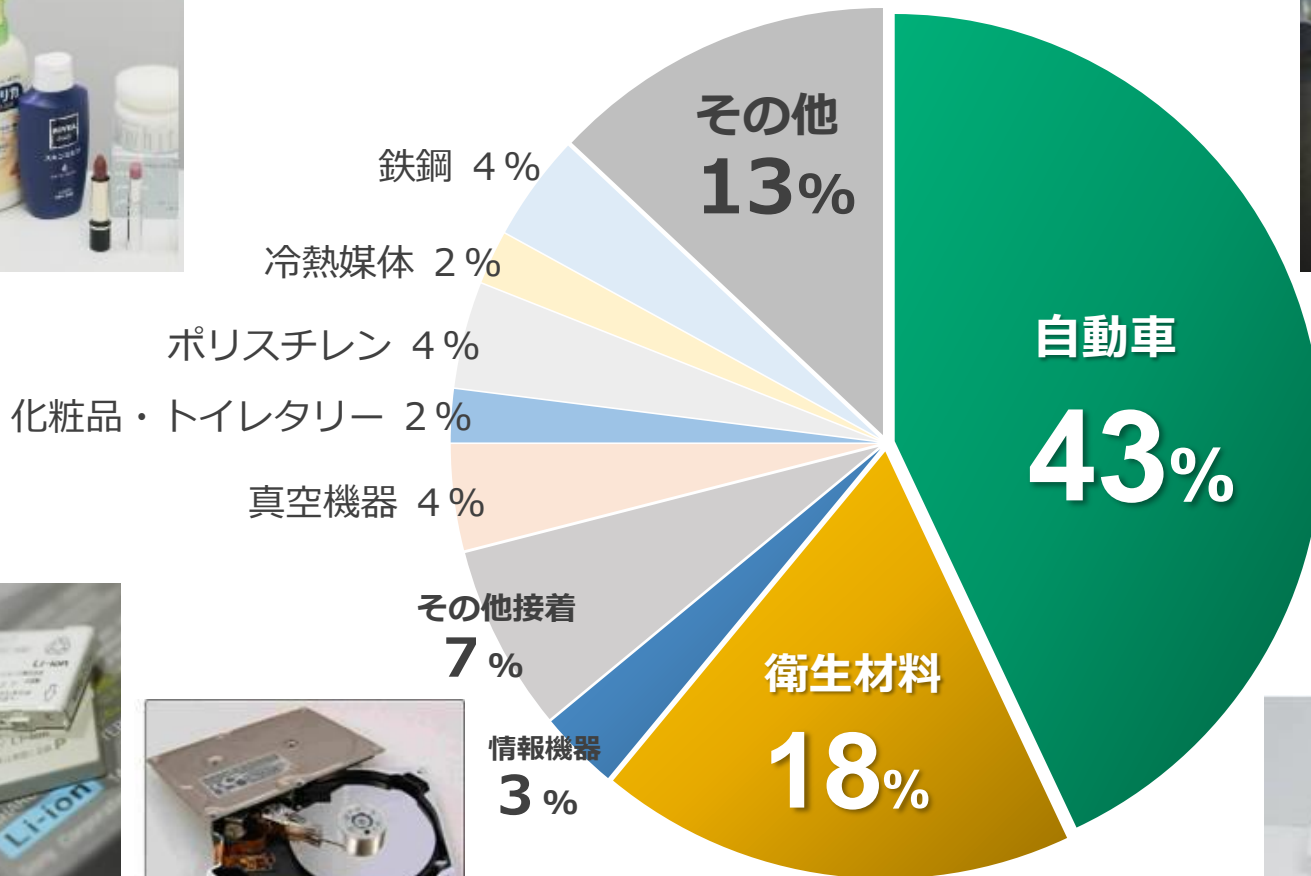
化粧品原料などに使われる
素材



有機EL・照明などに使われる
デバイス関連製品

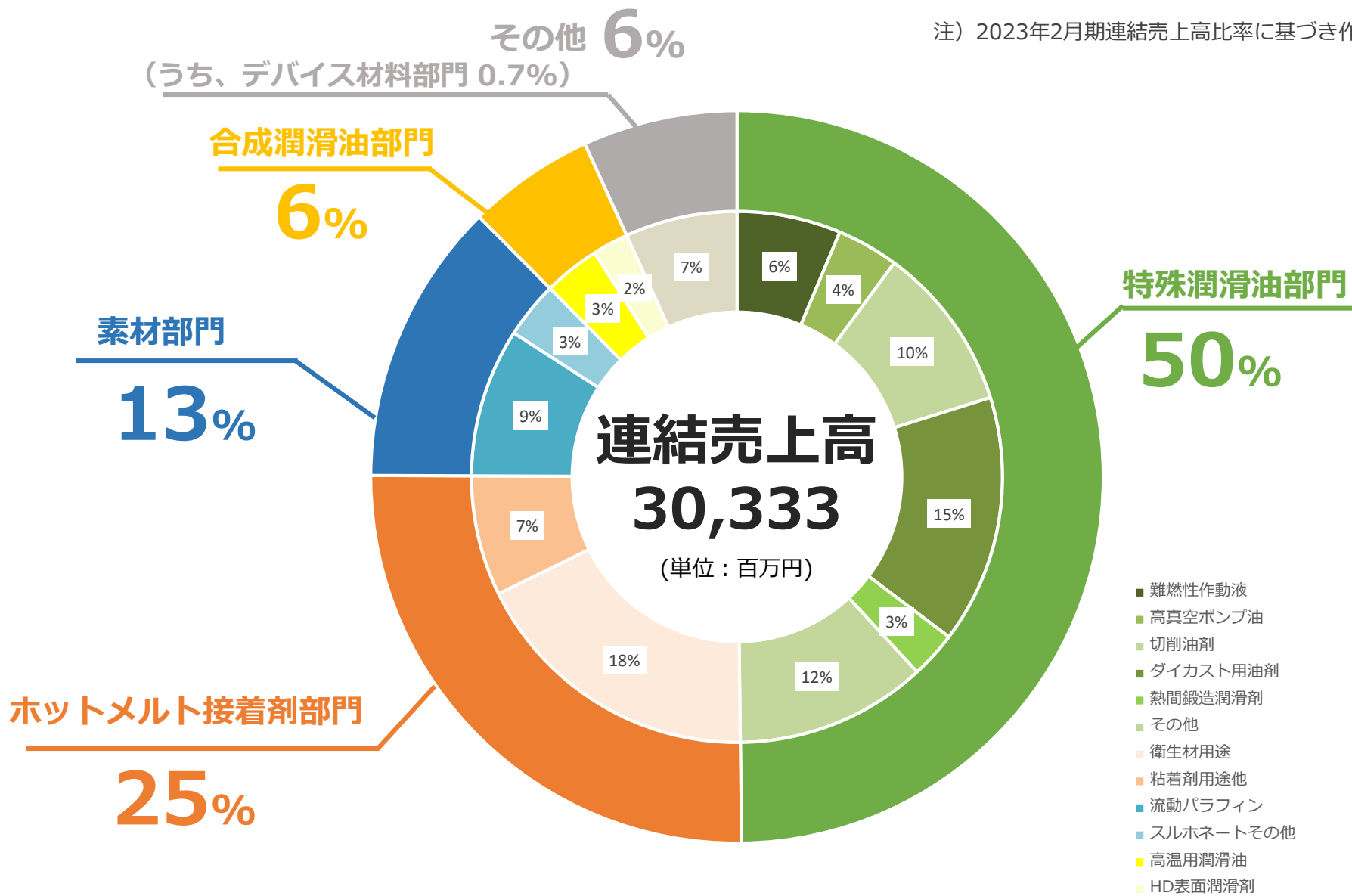


➤ 自動車関連分野における売上高が4割強



注) 2023年2月期連結売上高比率に基づき作成

注) 2023年2月期連結売上高比率に基づき作成



01

会社紹介

02

成長戦略

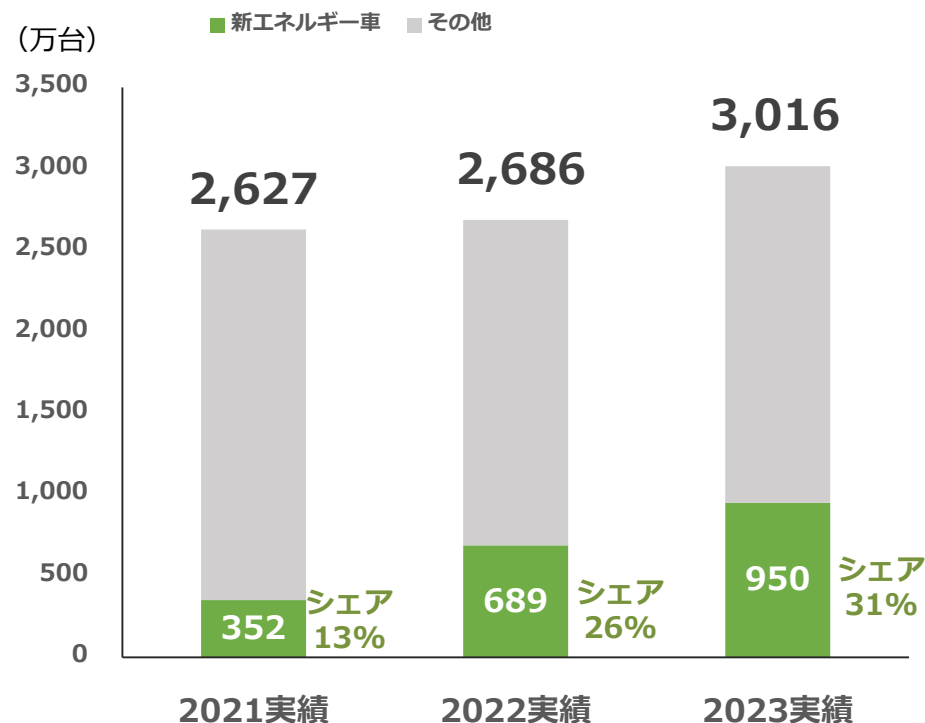
◆環境対応製品の開発・販売

◆社会課題解決に向けたR&D強化

◆グローバル展開の強化

➤ 新エネルギー車市場を牽引する中国で軽量化部材向け新製品を開発し、グローバル展開を図る

中国国内自動車販売台数推移



出典：中国自動車工業協会の統計データに基づく自社作成

新エネルギー車に必要な自動車軽量化に注力

ダイカスト分野

- ✓ ギガキャスト薄物大型部品(一体化/構造用)用離型剤
: 新合金対応、少量塗布(水溶性・油性)/希釈タイプ
- ✓ 非黒鉛系ALスクイズキャスティング用離型剤
- ✓ Mg自動車部品用離型剤

鍛造分野

- ✓ 非黒鉛系AL鍛造用潤滑剤

切削加工分野

- ✓ E-アクスル、バッテリーケース向けAL用切削油剤
- ✓ Mg自動車部品用シンセティック切削油剤

新たな塑性加工分野

- ✓ Pressforming(AL)用離型剤への本格参入
- ✓ 非鉄系(AL,Cu,Mg)冷温間プレス潤滑剤への本格参入
- ✓ 大手EV電池メーカー向けインパクト成形用潤滑剤

*中国政府は電気自動車 (EV) とプラグインハイブリッド車 (PHV)、燃料電池車 (FCV) を新エネルギー車と区分する

➤ 気候変動および生物多様性に貢献

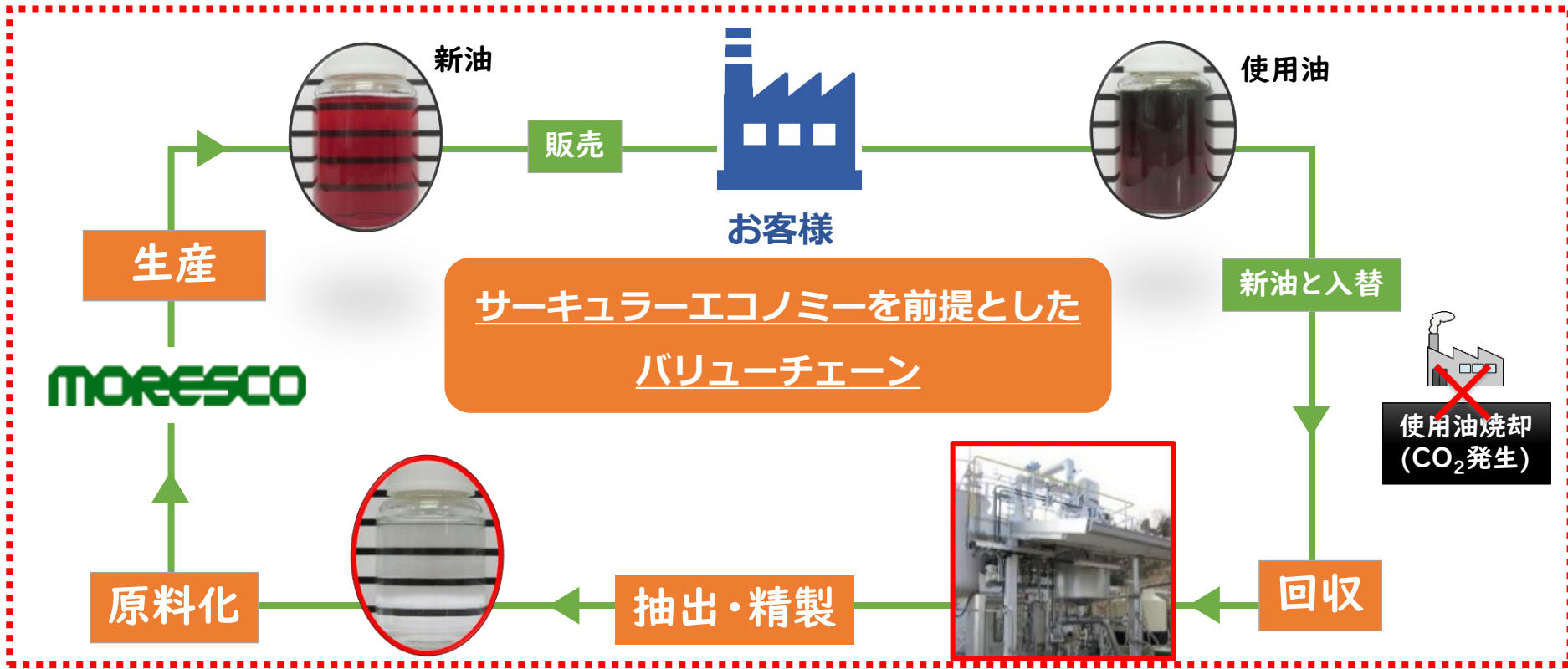


*ダイカストマシン 1 台当たりの計算数値

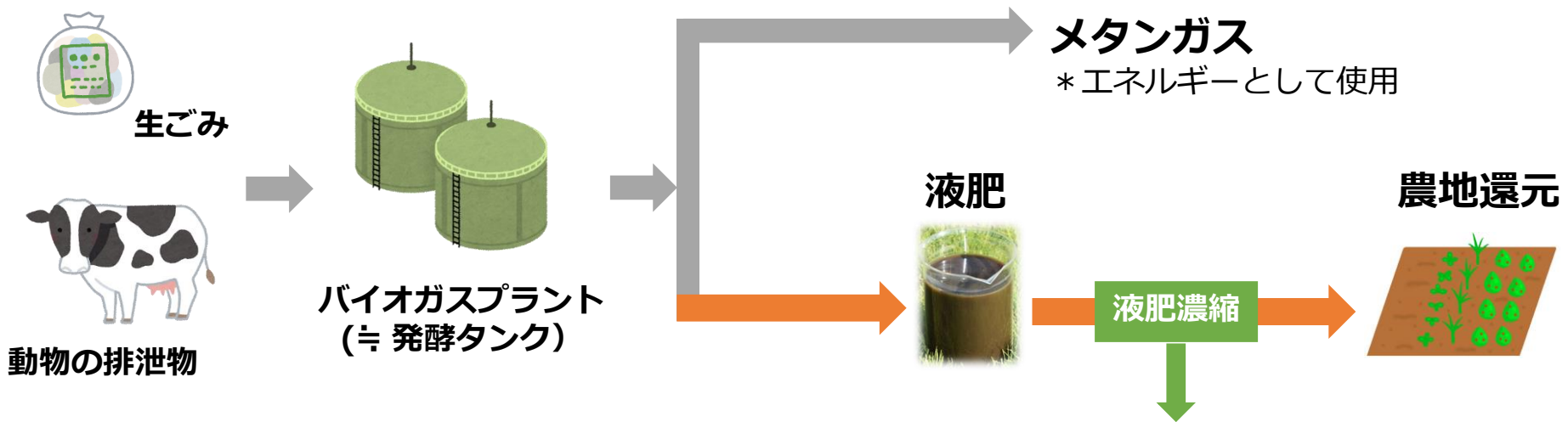
CO2削減量
8.2T/年

廃水削減量
200T/年

難燃性作動液のリサイクルシステム



- 薬剤を使わず物理的ろ過で液肥を濃縮することで液肥の利用コストを削減
- 岡山県真庭市のバイオ液肥濃縮施設に採用（2024年度稼働予定）



01

会社紹介

02

成長戦略

◆環境対応製品の開発・販売

◆社会課題解決に向けたR&D強化

◆グローバル展開の強化

- 事業部を横断し、社内間および産官学と連携した開発体制
- 全社横断的なプロジェクト**MOLGAD**の立ち上げ

- A事業部
- B事業部
- C事業部
- 海外子会社
- 協力会社
大学



新技術・新基盤技術の創出



大学発ベンチャーと 創薬の共同研究開発を推進

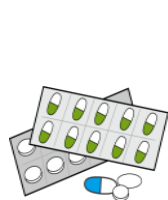


生活習慣病改善を期待できる

オートファジーを対象とした創薬活動を推進

薬理活性が向上した重要化合物を取得

**2023年度内
第一弾の特許出願予定**

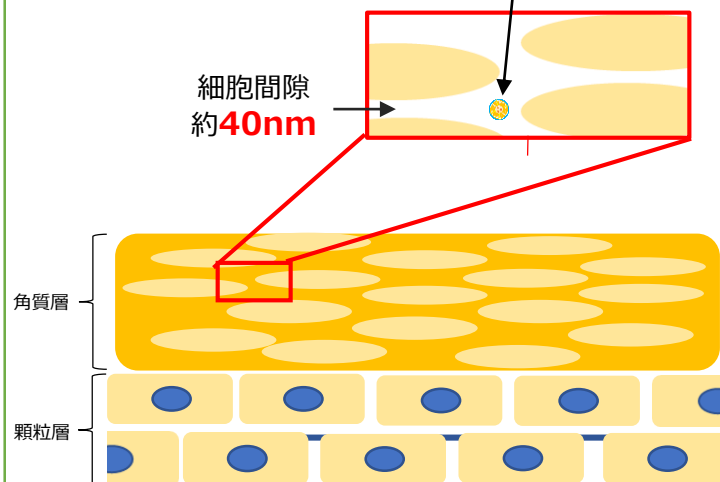


オートファジー研究は、老化に関連する様々な現象や疾患の予防・治療へつながる研究

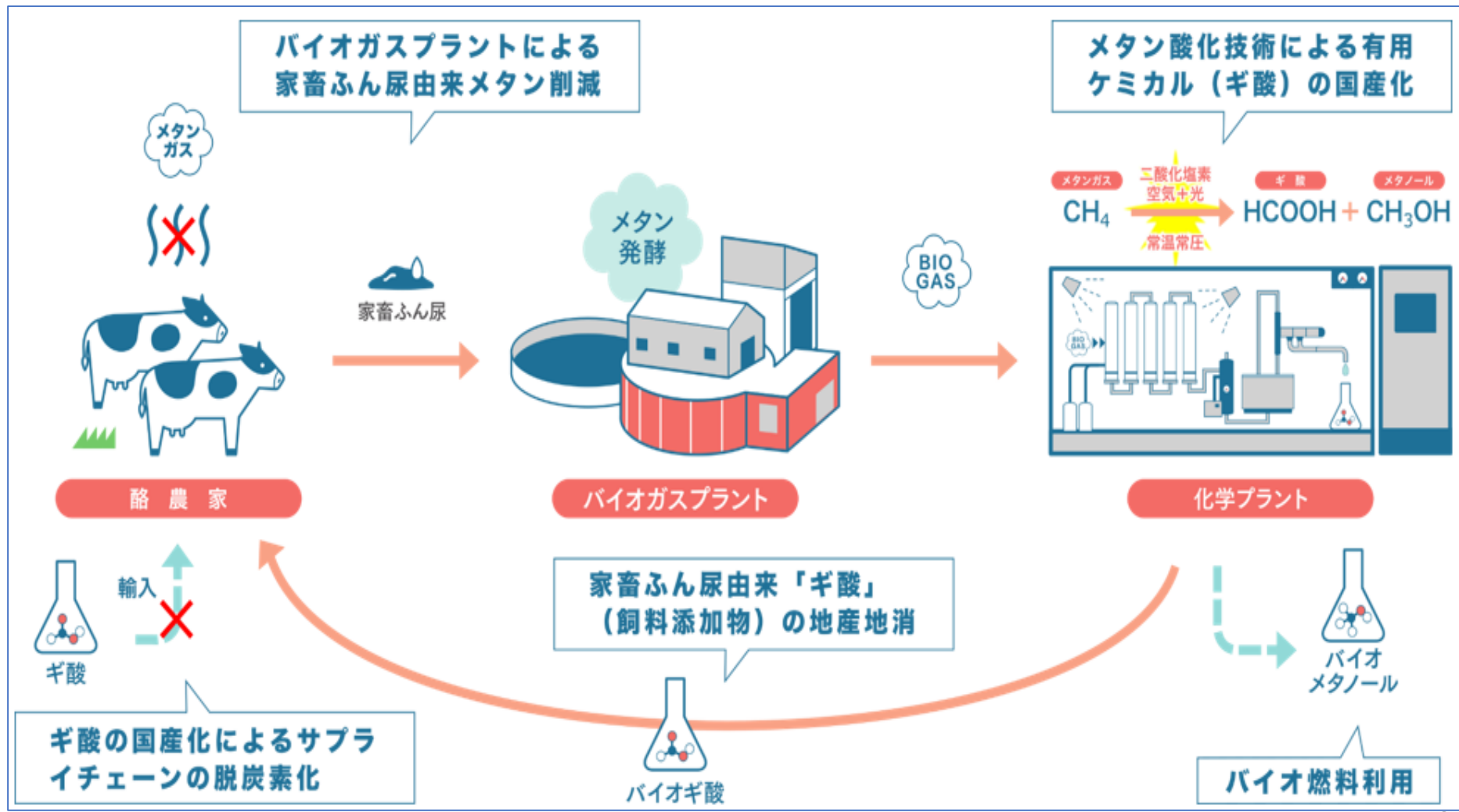
大手化粧品メーカーで サンプル評価中

アンチエイジングや日焼け止め向け
ナノエマルジョンで機能性を高める効果が
期待できる

ナノエマルジョン
MORESCO-NANOREACH **12nm**



➤ コンソーシアムを立ち上げ、2026年に年間10トンのギ酸生産を目指す



- 桐蔭横浜大学の宮坂教授が立ち上げたコンソーシアムに参加
- 2024年春までに試作品を開発し、2026年の実用化を目指す

コンソーシアム

ペクセル・テクノロジーズ
(代表：宮坂教授)

株式会社 MORESCO

株式会社 マクニカ

株式会社 麗光

三菱ケミカル 株式会社



【特別講演会】
宮坂特任教授にご来社、ご登壇いただきました
(2023年10月12日)

01

会社紹介

02

成長戦略

◆環境対応製品の開発・販売

◆社会課題解決に向けたR&D強化

◆グローバル展開の強化

- 各エリアに担当執行役員を配置し、顧客ニーズに迅速対応
- エリア別のR&D機能を強化し、新商品の上市を加速

中国

- 新工場の早期安定化
- 開発体制の強化 (R&Dセンター新設)
- 新エネルギー車向けの製品展開

★ 本社


北米

- 同業他社との連携検討
- 米系顧客への販売強化
- メキシコ法人設立検討&事業拡大

東南・南アジア

- タイにおける事業拡大&体制整備
- ASEANのホットメルト事業拡大

- 特殊潤滑油事業の生産能力・生産効率の向上 & 管理業務の効率化
- 開発体制の強化（R&Dセンター新設）



2023年10月12日

各位

会社名 **株式会社 MORESCO**
 代表者名 代表取締役社長 両角元寿
(カード番号 5018 東証プライム)
 問合せ先 取締役上席執行役員 藤本博文
 TEL 078 - 303 - 9220

子会社間の吸収合併および特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、2023年10月12日開催の取締役会において、当社の連結子会社である莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を存続会社として、無錫德松科技有限公司および莫莱斯柯花野压铸塗料（上海）有限公司を合併すること（以下「本件合併」という。）を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

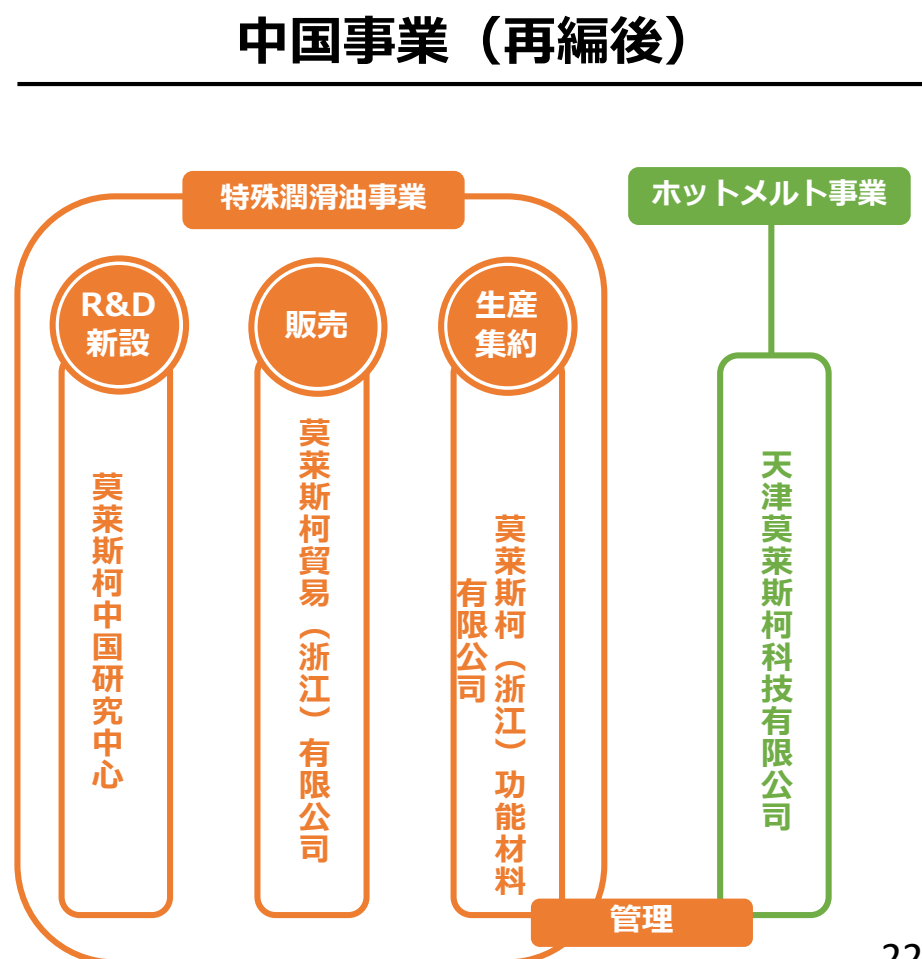
また、本件合併に伴い消滅する無錫德松科技有限公司は特定子会社に該当しております。

記

1. 合併の目的
 本件合併により、今後もさまざまな分野で成長が見込まれる中国において経営判断の迅速化を図るとともに、特殊潤滑油生産拠点の集約による生産能力・生産効率の向上および中国子会社管理部門の業務効率化を進めてまいります。

2. 合併の要旨
 (1) 合併の日程
 子会社合併に関する取締役会決議日（当社） 2023年10月12日
 子会社の取締役会決議日 2023年10月12日
 合併期日（効力発生日） 2024年6月（予定）

(2) 合併の方式
 莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を存続会社、無錫德松科技有限公司および莫莱斯柯花野压铸塗料（上海）有限公司を消滅会社とする吸収合併。
 なお、存続会社である莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司は、合併に伴う名称の変更はありません。



➤ 特殊潤滑油事業の拡大

- 生産拠点確保による安定供給の強化
- 米系部品メーカーの販路獲得、販売拡大
- 原材料の内製化による新製品開発の更なる促進

ダイガスト離型剤の市場シェア



出典：自社調査に基づく



MORESCO USA Inc



Cross Technologies Group, Inc.

01 会社紹介

02 成長戦略

03 サステナビリティ経営の推進

04 財務状況

04 株式関連

- 製品の原料調達から廃棄までのライフサイクル全体を評価し、当社の7つのマテリアリティ「目指す取組み」への貢献要素が特に大きい製品を認定



貢献カテゴリー

CO2排出削減



健康・安全



作業環境改善



省エネルギー



環境保全



産業発展への貢献





MORESCO Green SX 代表製品



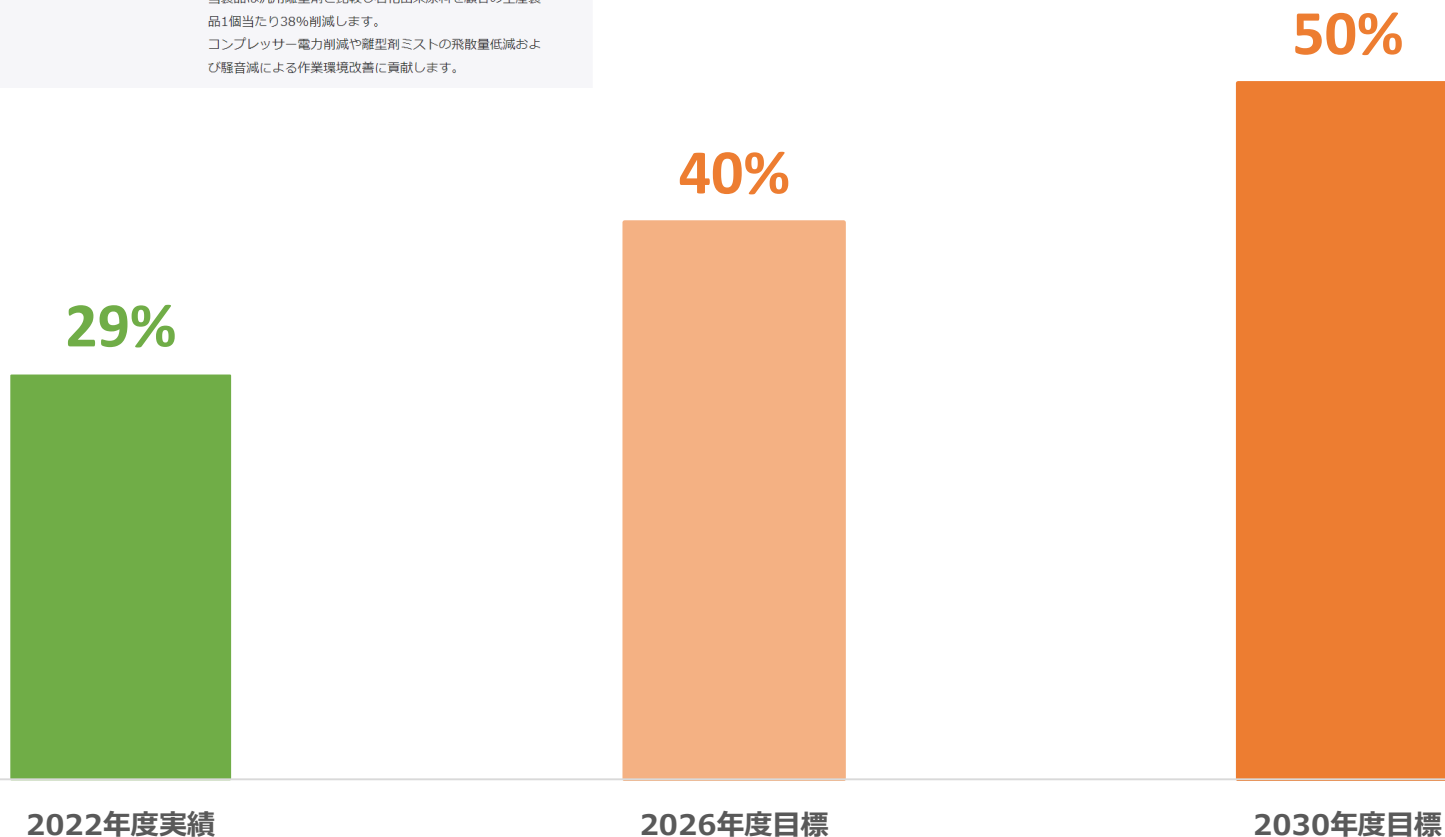
省エネルギー 環境保全 作業環境改善

水溶性少量塗布型離型剤 グラフエースMQシリーズ

一般的に離型剤は数十倍から百数倍に希釈して使用されますが、当社が開発した製品は希釈しないため非常に安定性が高く、また極少量塗布により廃液削減・金型の長寿命化により生産コスト削減に効果があります。
当製品は汎用離型剤と比較し石化由来原料を顧客の生産製品1個当たり38%削減します。
コンプレッサー電力削減や離型剤ミストの飛散量低減および騒音減による作業環境改善に貢献します。

2030年目標の達成に向け

既存製品の改良、新製品の開発を取り組み中



2030年までに自社消費エネルギーによるScope1,2GHG排出量を**46%**削減（2013年対比）

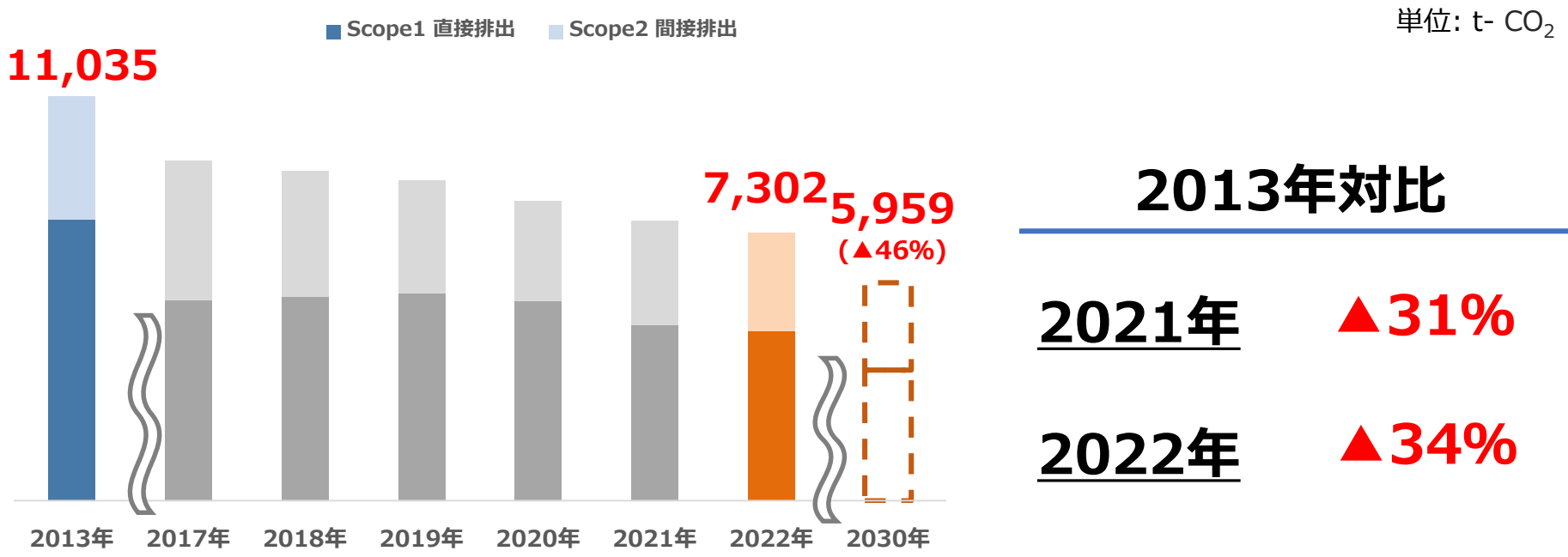
Scope 3 GHG排出量の目標設定を公開に向けて調整中



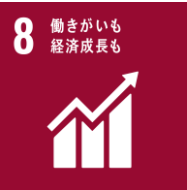
2050年までに**Scope1,2,3**を含めて**カーボンニュートラル**を実現

2022年11月11日
賛同表明

MORESCOグループ（国内）のScope1,2GHG排出量推移*



* MORESCOグループ（国内）のScope1,2GHG排出量について、本資料およびホームページのESGデータ集の数値を訂正しております。
<https://www.moresco.co.jp/sustainability/esg.php>



健康経営優良法人(大規模法人部門)

3年連続認定



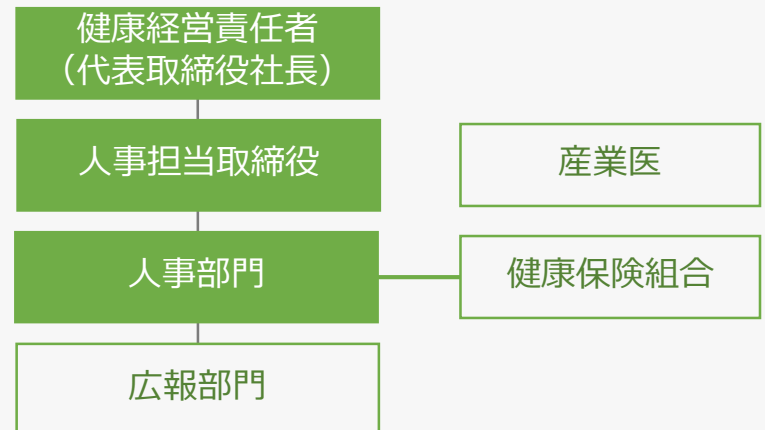
※特に優れた健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、

「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制



01 会社紹介

02 成長戦略

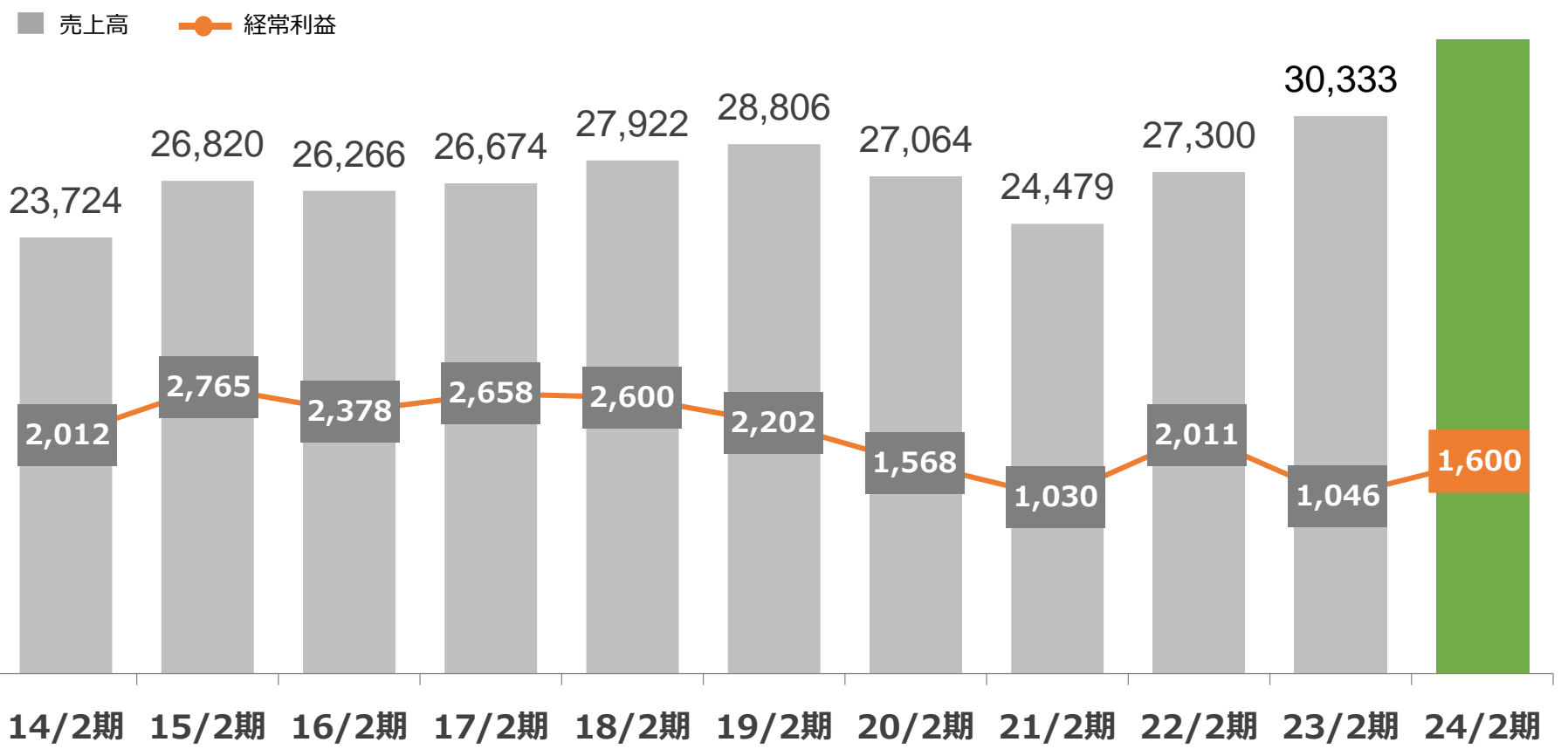
03 サステナビリティ経営の推進

04 財務状況

05 株式関連

- 社会課題解決を起点としたビジネスの創出
- 事業の付加価値向上と新たな事業分野への取り組みを加速

単位：百万円



➤ 通期予想の前提

原油価格：90 \$ /b 為替レート：130ドル/円

(百万円)	23/3Q	通期予想	進捗率
売上高	23,731	34,500	68.8%
営業利益	1,050	1,400	75.0%
経常利益	1,699	1,600	106.2%
当期純利益	1,335*	700	190.7%

* 無錫徳松科技有限会社の完全子会社化に伴い、特別利益（285百万円）を計上

➤ 配当金/株

中間20円、期末予想25円（記念配当5円含む）

特別損益の計上

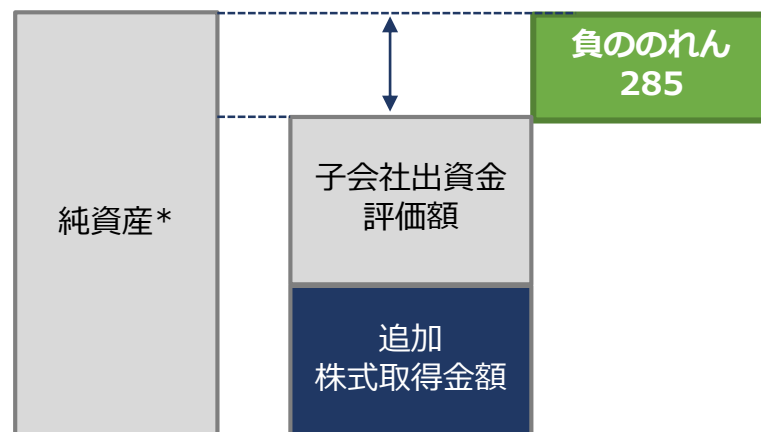
➤ 無錫徳松科技有限公司の完全子会社化（2023年10月）に伴い、負ののれん発生益として特別利益（285百万円）を計上

■ 当社の中国における事業再編


2023年10月	当社による無錫徳松科技有限公司の完全子会社化（50%→100%）
2024年6月 （予定）	莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を存続会社として、無錫徳松科技有限公司および莫莱斯柯花野圧鋳塗料（上海）有限公司を合併

■ 負ののれん発生益について

（単位：百万円）



*純資産に段階取得に係る差損34百万円を含む


 2024年1月9日

各位

会社名 株式会社 MORESCO
 代表者名 代表取締役社長 両角元寿
（コード番号 5018 東証スタンダード）
 問合せ先 取締役上席執行役員 藤本博文
 TEL 078 - 303 - 9220

無錫徳松科技有限公司の子会社化に伴う持分法による投資利益および特別損益の計上に関するお知らせ

2023年4月13日に開示しました「中国関連会社の工場用地取用に関するお知らせ」および2023年8月28日に開示しました「無錫徳松科技有限公司の持分取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、中国政府の要請による工場用地取用および無錫徳松科技有限公司の子会社化に伴う持分法による投資利益および特別損益を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

無錫徳松科技有限公司の中国政府の要請による工場用地取用に関する補償金の受取り完了が予定より早くなったことにより、2024年2月期第3四半期に持分法による投資利益として151百万円を計上する見込みとなりました。また当社は、2023年9月28日に無錫徳松科技有限公司を完全子会社化しておりますが、当期における重要性が増加したことから同社を連結子会社といたします。これにより、2024年2月期第3四半期に段階取得に係る差損として34百万円を特別損失に、負ののれん発生益として285百万円を特別利益に計上する見込みです。

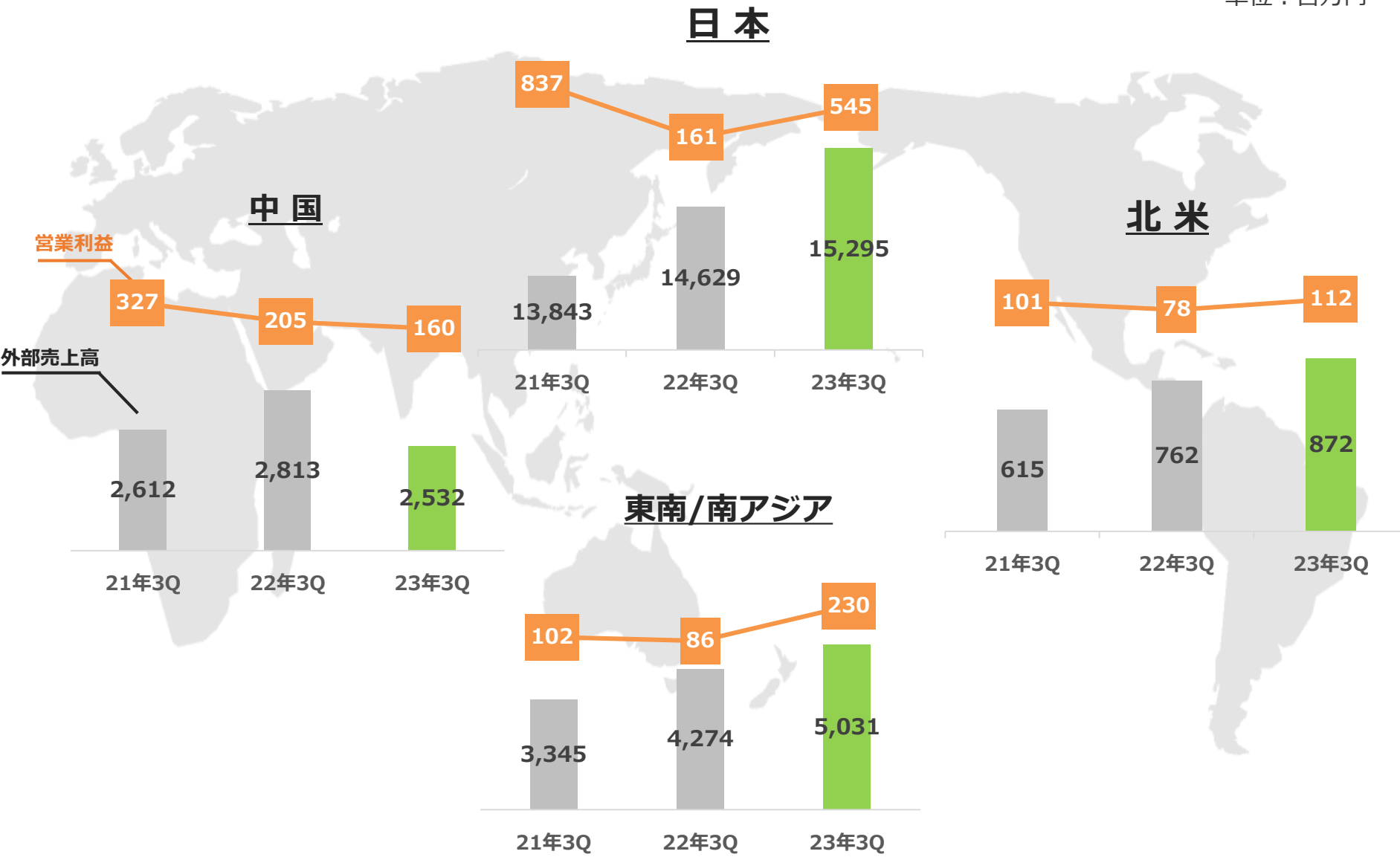
連結業績予想への影響は現在精査中であり、必要ある場合は開示いたします。

以上

(百万円)	22年3Q累計	23年3Q累計	前年比	増減要因
特殊潤滑油	11,081	11,965	+8.0%	自動車生産稼働の回復に伴い、ダイガスト離型剤等の出荷増
合成潤滑油	1,381	957	▲30.7%	データセンター投資冷え込みの影響により減収
素材	2,849	2,993	+5.1%	ポリスチレン可塑剤向けの出荷増
ホットメルト接着剤	5,801	6,419	+10.7%	衛生材用途が堅調に推移
その他	1,367	1,396	2.1%	
売上高合計	22,479	23,731	+5.6%	

セグメント別損益推移

単位：百万円



01 会社紹介

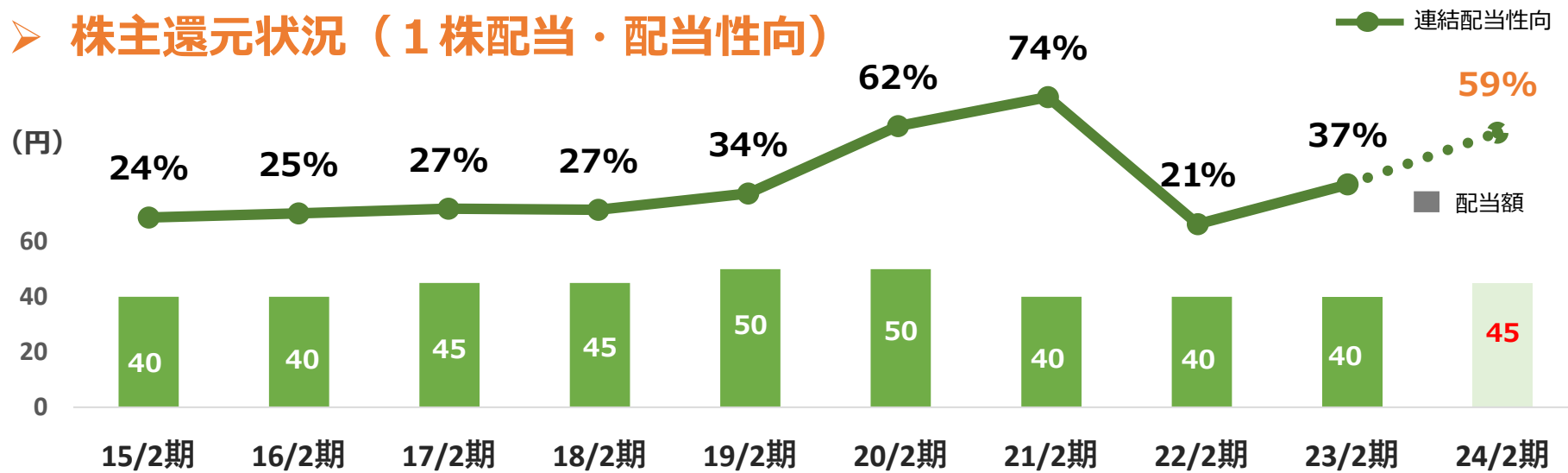
02 成長戦略

03 サステナビリティ経営の推進

04 財務状況

05 株式関連

株主還元状況（1株配当・配当性向）



株式情報

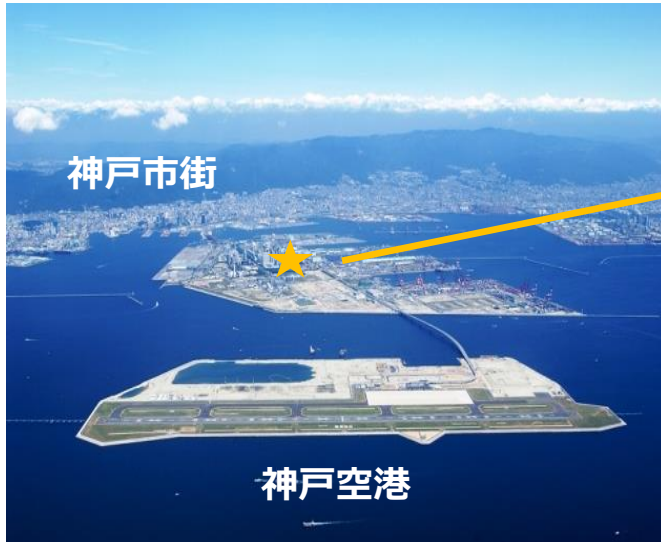
— 移6カ月 — 移12カ月 — 移24カ月



PBR (株価純資産倍率)	0.67 (2024.1.31時点)
PER (株価収益率)	19.22 (2024.1.31時点)
ROE (自己資本利益率)	3.4% (2023/2月期実績)

* 2024年1月31日時点の株価

対象	毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された3単元（300株）以上の当社株式を保有されている株主様	
優待の内容	300株以上かつ継続保有期間3年未満	クオカード 3,000円分
	300株以上かつ継続保有期間3年以上	クオカード 4,000円分
基準日	2月末日（本決算期末）	
贈呈時期	5月下旬（事業報告書に同封）	



- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。